

志教育の 視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
活動名	『石商マーケット』事業の実施
教科・領域等	科目「総合実践」、科目「課題研究」
活動学年等	3 学年（総合ビジネス科）
ねらい	模擬的な株式会社を設立し、経営方針の立案、商品の仕入れ、販売戦略、広告と広報活動、接客マナー、仕入れ価格と販売価格の設定など、商業高校の授業で学んだ内容を総合的に実践し、実社会で役立つ力を身につける。また、会社経営を学ぶことで、将来は石巻地域の人々の役に立ち貢献できる人材を育成する。

【実践内容】

〔志教育の視点〕

本校が主体となり、石巻商業高校人材育成協議会を運営し、地域の発展に貢献している委員（大学教授、行政、地元民間企業経営者等）から貴重な意見をいただきながら、「石商マーケット」をとおして生徒の「志」を高める事業とする。

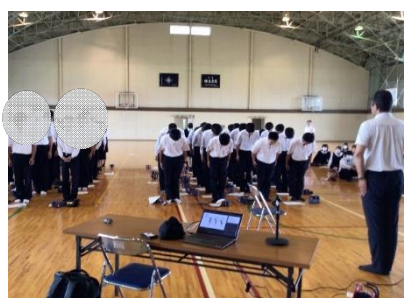
〔活動内容〕

1 石商マーケットについて

3年生の科目「総合実践」および「課題研究」、2年生の科目「マーケティング」の授業担当者を中心に本校教職員で取り組んだ。生徒は店長、経理のほか、商品管理などの分野に分かれて活動した。店舗の設営や仕入れる商品の選択、陳列、一部商品の価格設定は生徒自らがおこなった。科目「課題研究」において、「経営戦略班」「地域連携班」「広報戦略班」「商品開発班」に分かれ、それぞれに研究テーマを設定し、石商マーケットの運営や準備、商品開発を通じた事業所との共同開発、広報・販売促進に向けた地域との連携等をおこなった。石商マーケットを通じて全国の専門高校で高校生が開発した商品について学び、石巻地域や宮城県内の消費者にその魅力を効果的に伝える力を身につけさせたい。また、地域との関わりを通して将来、生徒一人一人が石巻地域にどのように関わり、どのような役割を果たすのかを考え、より高い志を育み、よりよい生き方を考えさせる。



【石商マーケット株主総会】



【販売・接客時のマナー講座】



【POP広告作成講座】

また、今年度、石巻地域の基幹産業である水産業を活気づける重要性に着目し、特産品である「蒲鉾」の消費拡大を目指した商品開発に取り組み、「笹かまぼこ」を使った石商パン（惣菜パン）を企画し、販売活動を行った。今年度さらにご協力をいただいた株式会社高政様への取材を通じて、商品として利用されない「未利用」の水産資源の存在を知った。近年、海の環境変化等によって、水産資源が減少して「サイズが小さい」「加工に手間がかかる」「見栄えが良くない」等といった理由から廃棄されている水産資源を「何とかしたい」という思いから研究活動を始めた。「未利用」の水産資源に関わる取材で、魚介類の他にも「ワカメ」や「コンブ」といった海藻類も利用価値がありながら廃棄されている現状で、特に「ワカメ」は、海の環境の変化等により、茎の付近に穴が開いてしまう現象がみられた。そこで、この「穴の開いたワカメ」を使った環境に優しいサステナブルな商品開発にチャレンジをし、フードロスの問題や持続可能な漁業のあり方やSDGsの意識を高める一助としたいと考え、「穴あきワカメを使ったサステナブルなポップコーン」の商品開発に取り組んだ。

【令和6年度開発商品】



蒲鉾とチーズ
「チーぼこ」



蒲鉾とカレー
「カレーぼこ」



お好み焼き風味と蒲鉾
「おこぼこ」



穴あきワカメを使ったサステナブルなポップコーン



イオン利府店で販売中

	日 程	場 所
第 1 回	9月10日（火）・11日（水）	道の駅上品の郷
第 2 回	11月28日（木）・29日（金）	イトーヨーカドー石巻あけぼの店

第1回目は「上品の郷」、第2回目は「イトーヨーカドー」の2カ所で実践販売となった。地元の商品では、本校と印刷会社ビヨンド、洋菓子店カルンが共同開発した「イシノマキマン感動いっパイ」「ドーナツマフィン」、このほか全国の専門高校で開発されたレトルト食品などさまざまな加工品を販売した。

2 事業の役割について

専門高校で作られた商品に理解を深めながら、魅力の伝え方や販売方法を考えて商売のノウハウを体験する。コミュニケーション能力の向上や地域との関りを学ぶ機会として有益な事業である。こうした実践活動は、自らが計画を立て問題を解決していく姿勢が大切であり、自己実現を図る態度と能力を養うとともに、自己の進路希望等への意欲を高めることを期待している。

【もとめる】3年間の授業で学んだ内容をもとに、模擬会社を設立し、経営戦略を立てる。

【かかわる】全国の専門高校で高校生が開発した商品についてその魅力を学び、石巻地域や宮城県内の消費者の手に届くように、より効果的な方法を考える。

【はたす】「石商マーケット」事業で身に付けた力を高校生として社会に生かす。

将来一人一人が石巻地域にどのように「かかわり」、人々の役に立つ人材としての役割を「はたして」、より高い「志」を育んで、よりよく生きることができるよう夢を「もとめさせる」。この事業全体を通して生徒の心のエンジンに「志」を点火させる。

3 効果と課題

石巻市内の大型商業施設および道の駅において、全国の商業高校で学ぶ高校生が開発した商品を取り扱い、商品販売を実施して学習成果発表会とすることで、専門高校における学習について広く県民に知らせることができた。

また、本校では「石商マーケット」を特色ある学校づくりの事業として位置付けている。学校評価アンケートで生徒の肯定票はR4年度88.1% → R5年度88.3% → R6年度90.2%、保護者の肯定票がR4年度89.7% → R5年度89.4% → R6年度93.5%となっており、高く維持している。一過性のものではなく、今後を見据えた持続可能な教育活動となる計画を作成していく。